

# KN グローカルリサーチレポート

2023年1月  
No.81



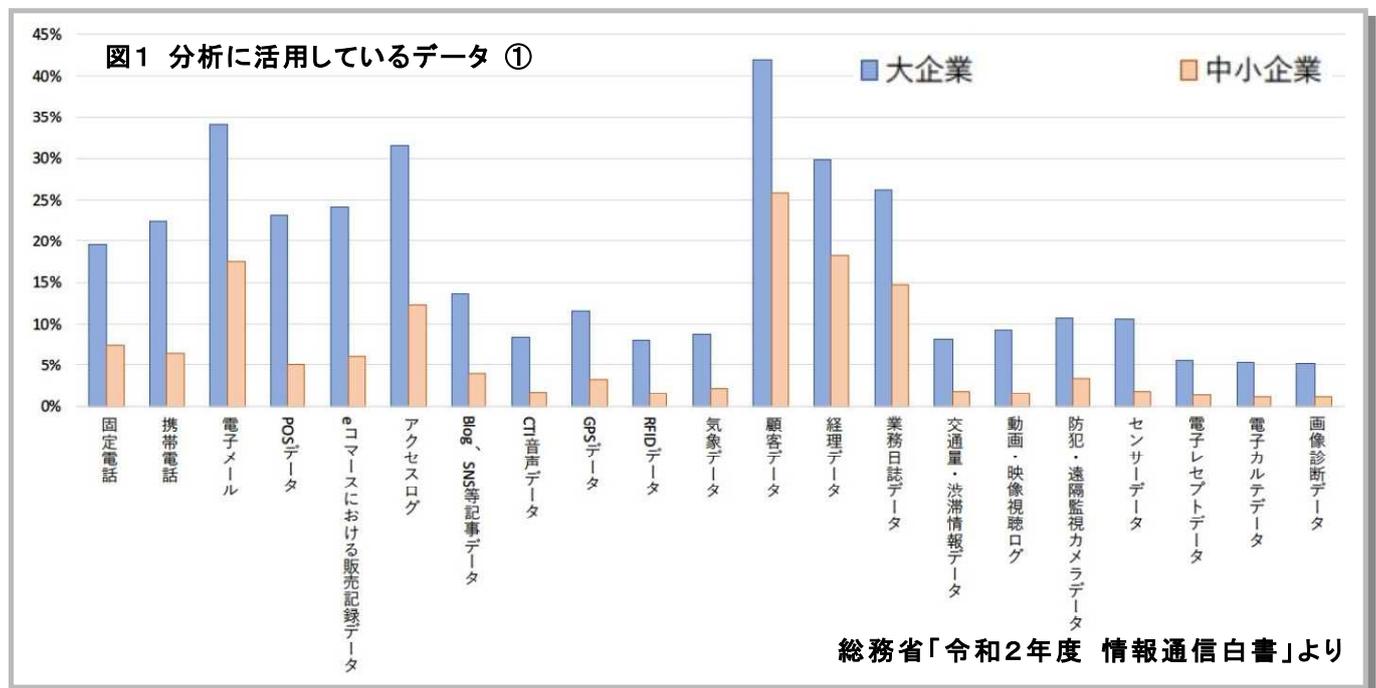
新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年も、脱炭素、デジタル化、データ活用、危機管理対策などが話題になりそうです。

## データの活用(データドリブン経営)

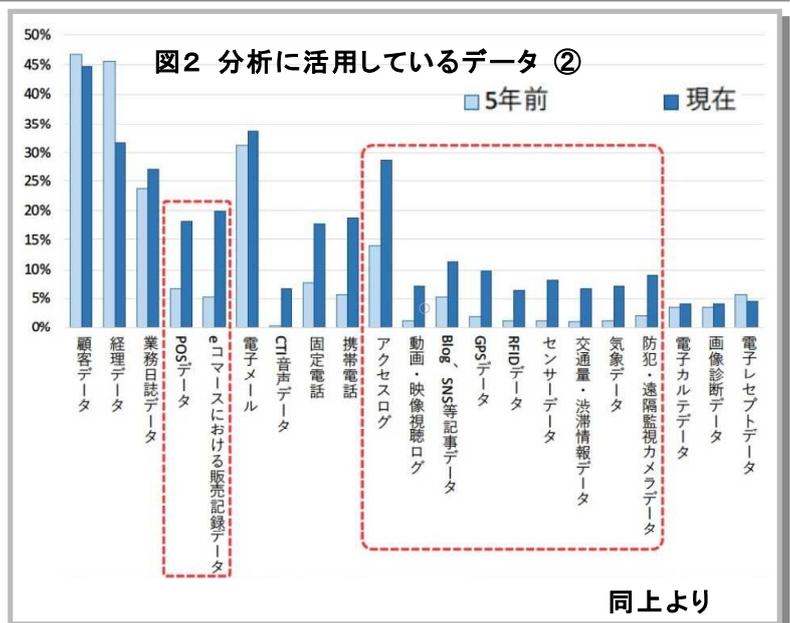
ビジネス活動の分析にどのようなデータを活用しているかを見ると、大企業も中小企業も「顧客データ」「経理データ」「業務日誌データ」などの業務系データを活用している。

「POS データ」や「e コマースにおける販売記録データ」「アクセスログデータ」などは、大企業が先行しており、今後の中小企業での活用が見込まれる。



ここ数年で、活用が伸びているデータは、POS や e コマースの『販売記録データ』と、アクセスログや GPS、センサー、交通量、気象、カメラ等の『自動取得データ』である。

「データドリブン経営（経営者の経験や勘に頼るのではなく、収集や蓄積されたデータを分析し、分析結果に基づいて、経営戦略を立て、企業の方針を決める経営）」が広がってきている。



自社の保有するデータとビッグデータやオープンデータ等を合わせ、これらのデータを、マーケティングや、商品やサービスの企画・開発、経営企画や組織改革などに活用する企業が増えてきている。

## 浜松市域の、法人の設立・設置や 休業・廃止・解散

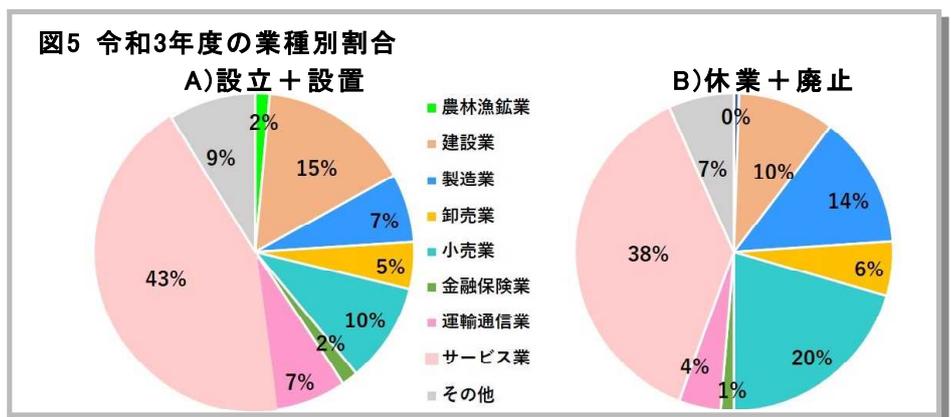
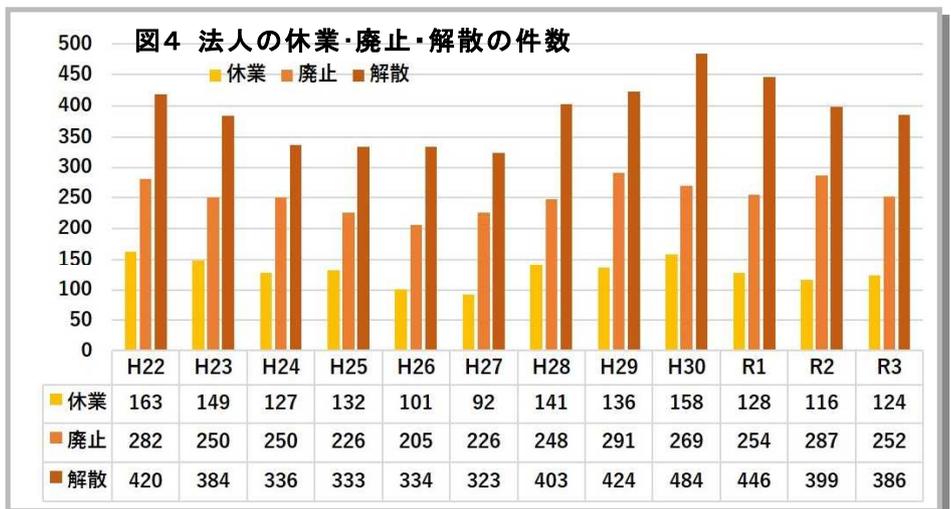
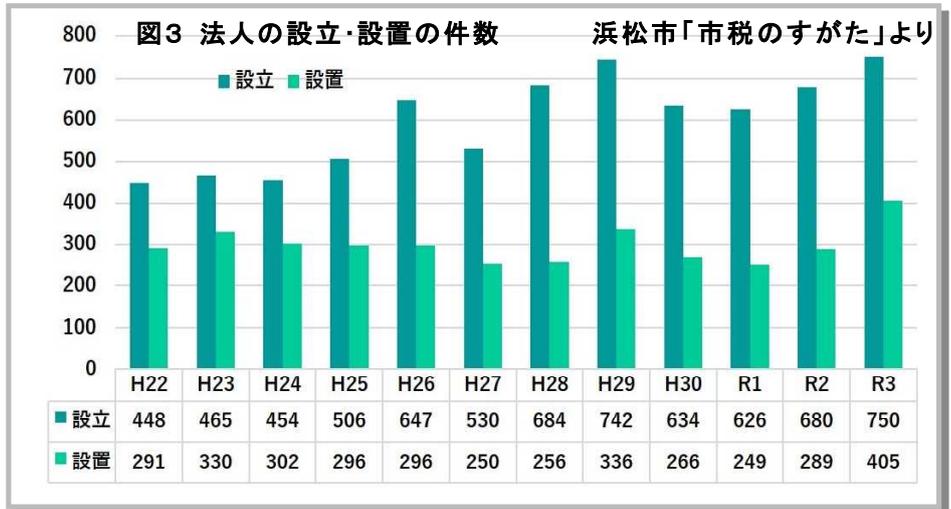
浜松市域での法人の「設立（会社を法務局に登記）」は増加傾向にある。令和3年度は750件で、10年前の約1.6倍となっている。コロナ禍であっても、「設置（支店の開設等）」も増加している。

法人の「解散（解散登記したもの）」は、平成30年度から年々減少しており、令和3年度は386件であった。

この数年間の「休業（浜松市に届出たもの）」は約130件前後で、「廃止（浜松市に届出たもの）」は約260件前後となっている。

令和3年度の業種別割合を見ると、「設立+設置」は、サービス業が最も多く、建設業、小売業と続く。

一方、「休業+廃止」もサービス業が最も多く、次いで、小売業、製造業となっている。



2022年12月25日執筆

バックナンバー→



\*\*\*\*\* お問い合わせ \*\*\*\*\*

西川公一郎 ((一財)日本総合研究所 客員研究員、防災士、元浜松市議会議員)

浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org